

株式会社 東芝

TOSHIBA

TOSHIBA

東芝グループにおけるLGBT等の性自認及び性的指向を理由とした差別の禁止及び解消に関する基本方針(抜粋)

東芝グループは役員・従業員の行動基準に「人権の尊重」を掲げ、人種、宗教、性別、国籍、心身障がい、年齢、性的指向等に関する差別的言動、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント（職場のいじめ、嫌がらせ）等の人権を侵害する行為をしないと明記しました。それに基づき、東芝グループは少数者にあたるLGBT等（Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender及び他のセクシュアリティを含む）について、以下の方針により責任を持って対応します。

- ・少数者を差別しません
- ・自己決定を尊重します
- ・仕事・業務の妨げを取り除きます

東芝グループが新しい未来を始動させるため、誠実で、変革への情熱を抱く人材が会社の思いを描き、お互いに協力しあい、ともに生み出していくには、個性と多様な能力が発揮されることが不可欠なため東芝グループ全従業員を対象とした上記の基本方針を掲げ、対応を行います。

© LGBT+等に関する経済大学の基本理念と対応ガイドラインに基づいて作成



東芝グループにおけるLGBT+差別の禁止及び解消に関する基本方針の制定

東芝グループは多様な価値観・バックグラウンドを持つ従業員一人ひとりがいきいきと働ける職場を目指しています。その目的を実現させるためにSOGIに関する差別解消すべく、LGBT+差別の禁止及び解消に関する基本方針を制定しています。

LGBT+理解促進の取り組み

2022年12月にLGBT+理解促進セミナーを開催し、LGBT+に関する最近の動向や相談を受ける時のポイントについて、ケーススタディを交えながら学びました。映画「手のひらのパズル」のチケットプレゼント企画を実施するなど、LGBT+について啓発活動を行いました。



社内LGBT+ Allyグループ

多様性受容推進を目的としたコミュニティの中に社内のAllyグループを立ち上げ、LGBT+に関する情報・記事の共有の他に、意見交換、Allyシールの配付も行っています。また、社内外のイベントについて案内し、どう理解すればいいか、どのような支援ができるかについて、皆で知識を深めています。



外部からの評価と今後の展望

PRIDE指標に2020年から参加し、2022年は2年連続で「ゴールド」を獲得しました。東芝グループ主要4子会社は「ブロンズ」を獲得しています。今後もLGBT+への配慮や理解促進に向けた取り組みを強化・継続しながら理解の輪を更に広げ、東芝の「ゴールド」の継続、主要4子会社の受賞ランク向上を目指します。